

## 目標達成計画

作成日: 令和4年 1月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		毎月のホーム会議において、その月の行事について話し合い、その都度企画チームを組んで活動しており、行事の中には、職員が独自に考えて実施しているものもある。ただし、コロナ禍のため、多くの行事が変更ないし縮小されて実施中である。	コロナ感染症に注意しながら、その中でできる行事や業務の流れを引き続き作っていく。	入居者様の重度化や感染症対策について業務の改変を行いながら、①新しい行事企画の提案、②職員に負担のない業務計画の作成、③災害や感染症対策を踏まえた試行錯誤を行う。	6ヶ月
2		異動や新しく入職された職員の方々に、業務の件や、必要な知識習得の研修を行ってお伝えした。また、月1回以上、応急訓練を行い、緊急時に必要な知識習得を、練習をもって行ってもらっているが、中堅職員の育成が急務である。	職員の育成の仕方を定型・マニュアル化し、中堅職員向けの育成方法を確立する。	職員育成の経験値が溜まりつつあるため、それをベテラン職員に説明するとともに、中堅職員向けの研修企画を検討する。	6ヶ月
3		職員の年齢や出来ることに応じて、職域を変えて配置している他、年中行事以外での企画やレクの提案を受け入れ、その都度実施して頂いているが、今後も幅広い個性や年代層で働ける職場を目指す必要がある。	職員一人一人の個性を生かし、共通の方向性と理念を共有しつつ個々の職員の意見を実現できる環境を作る。	昨年に引き続き、年代や能力に応じた業務・役割分担を行う他、現在まで行っている行事の前例にとられない行事企画を認め、実行していく。	6ヶ月
4		コロナ禍により、ご家族との連携の機会が少ないことから、もう少しいろんな場面で情報の共有を行う必要がある。	オンライン面会の推進や運営推進会議等の意見収集などを検討し、実行する。	現在はLineによってやり取りをしているが、ZOOMによる面会を推進し、運営推進会議などの情報を、個人情報に触れない程度で公開して意見の収集を図っていく。	6ヶ月

5		<p>利用開始時に交わす書面において、内部窓口に加え、市町村窓口や外部相談体制を記載することが望ましい。書面の見直しに期待したい。</p>	<p>ご家族への市町村窓口や外部相談体制を案内し、書面にも記載して保管をお願いする。</p>	<p>各ご家族へお伝えする資料の作成を行い、配布する手立てを手配している。(玄関まで来所時及び郵送等で順次配布中) 今後は、入所当時より提供できるよう、また、契約書等に記載するなどの修正を行う。</p>	6ヶ月
6		<p>陰洗用具やポータブルトイレなど羞恥心に配慮した取り扱いが必要であり、検討・取り組みに期待したい。</p>	<p>入居者様と話し合い、その結果をホーム会議にて検討し具体的な支援を図る。</p>	<p>陰洗用具は洗面合下に置き直し、ポータブルトイレについては、本人様に意向を確かめながら位置を修正・目立たない配置の工夫をしている。今後も、こうした視点を大切にして用具の配置を行っていく。</p>	6ヶ月